

備前市事務事業評価表

事務事業名	公共下水道施設管理事業		コード	01-01-10-05
			担当課・係	下水道課施設管理係
事業実施期間	S62~		担当者	池本吉弘
			電話	63-2330
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	下水道		

事業について	
目的 (何のために)	公共用水域の保全のために、流入下水を浄化し放流する。
対象 (誰・何を対象に)	下水道使用者及び不特定多数
内容	処理場4箇所、汚水中継ポンプ場4箇所、雨水ポンプ場1箇所及び管渠、マンホールポンプ設備の運転操作、保守点検、修繕、清掃等。処理水、公共用水域の水質分析及びデータの整理。事業場排水等の水質調査及び指導。

事業の結果								
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)					
処理水量	3,434,508 m ³	3,820,788 m ³						
流入水COD値(平均)	88 mg/l	103 mg/l						
放流水COD値(平均)	10 mg/l	12 mg/l						
脱水ケーキ量	1,832 t	1,755 t						
水洗化人口	24,635 人	24,931 人						
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源				
	直接事業費 320,950	国庫補助金等	直接事業費 315,840	国庫補助金等				
	人件費 31,030	受益者負担	人件費 27,070	受益者負担				
	市債	市債						
合計	351,980	一般財源等 351,980	合計	342,910	一般財源等 342,910	合計	0	一般財源等 0

結果指標	必要人員	3.85 人	3.30 人	
	結果指標名	放流量	放流量	
	結果指標量	3,434,508	3,820,788	
	単位	m ³	m ³	
結果指標	対前年比	-	111.25%	0.00%
	活動にかかるコスト	351,979,993 円	342,910,075 円	
	単位当たりコスト	102 円	90 円	
	結果指標名	処理人口	処理人口	
結果指標	結果指標量	24,635	24,931	
	単位	人	人	
	対前年比	-	101.20%	0.00%
	活動にかかるコスト	351,979,993 円	342,910,075 円	
結果指標	単位当たりコスト	14,288 円	13,754 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	処理場施設の適正な維持管理に努め下水を処理することにより、公共用水域の水質保全および生活環境の改善を図る。		
成果指標名	COD値	式又は説明	化学的酸素要求量。水中の有機物を酸化剤（薬品）によって酸化するのに消費される酸素量。大きい値ほど汚れが甚だしいことを示す。
成果指標量	17年度	9.7	12
	18年度		123.71%
対前年比	-		0.00%
到達目標値	15mg/l	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 下水道法、環境基本法、水質汚濁防止法	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	下水道法、環境基本法等の規定に基づき、公共用水域の水質保全および生活環境の改善を図るため、汚水の処理及び雨水の排水を行う施設の管理を行う。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	処理水量は年数パーセントの増加に留まっているが、耐用年数に達した機器が多く修繕費や工事費が増加すると共に、厳格化される環境基準に適合する水質を維持するため処理コストも増加傾向にあるので、委託業務を始めとした業務全般に亘り契約内容や方法等検討し、削減すべく努力を行っている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	処理場機能は最大限に発揮されており成果指標は達成できる見込みである。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 維持管理業務の委託について、包括的民間委託の導入について検討を実施
目標値	結果指標量 4,000,000 m ³ /年	結果指標量 25,500人	
目標値	成果指標量 10 mg/l		

総合評価	処理コストを抑えるよう努力しつつ、処理場機能を最大限に発揮できるよう運転管理を行う。	評価区分 <A~E> C
------	--	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	委託業務について、契約内容や方法等について検討を行う。	平成20年度	委託費用及びユーティリティ費用の削減